



福生二中だより

No. 6

令和6年10月1日発行

福生市立福生第二中学校

TEL 042(551)1970

校長 平井 貞昭

「^{しゅこう}首肯する」

「首肯する」とは？ と思った方がいらっしゃると思います。「首肯する」とは「相手の話にならずき、肯定する（認める）」という意味です。私は、私も含めて大人は、子供の言うことをきちんと聴いているのかという疑問をもち続けています。「聴く」とは、相手の話を注意して聞くことです。私も含め、大人たちは子供の話を、子供の考え、子供が置かれている立場、子供の願い、子供の夢…など多くのことを念頭に置いてきちんと聴くことができているのか。子供の話をすぐに否定し、大人の考えを押し付けたり、大人の意図する方向にもっていったり、正しいかどうかで判断したり、できるかどうかで判断したりしすぎていないか。と考えています。

一旦、子供の話を「首肯」して、受け入れ、子供の本当の考えを引き出し、大人の考えも伝えながら、対話を通して合意形成を図ることが重要ではないかと思っています。もちろん、忙しい中でそのような時間が取りづらい状況もあるかと思いますが、私は、しっかりと子供と向き合う時間を確保して、「首肯する」ところから、子供の話を「聴く」ようにしていきたいと思っています。保護者の皆様にも御賛同いただけると幸いです。

各学年の取組 ～魅力ある学校づくりに向けて～

第1学年

1年生は、9月20日（金）に川越校外学習に行ってきました。多くの生徒が自分たちで決めたルールや班行動計画表をもとに、しおりを見て行動できました。1人では味わうことができない感動を班員と分かち合うことができました。また、自分たちで時間を見て行動できたことはこれからの学校生活や、行事にきっと生かせるはずです。

学校の中での当たり前が社会に出たときの当たり前ではないと気付いた生徒も多くいたと思います。うまくいかなかったことを振り返り、さらなる成長を期待しています。



第2学年

9月17日(火)～19日(木)の3日間で職場体験学習に行ってきました。事前訪問では、生徒たちはそれぞれの事業所で、担当の方と打ち合わせをしてきました。

そして、1日目は緊張しながらの「出勤」、2日目は少し慣れてきて、3日目には「もっと続けたい」との感想もありました。毎日の活動について、楽しそうに話してくれる生徒の姿から、充実した3日間であったことがうかがえました。最終日には職場の方に「働くとは」というインタビューもできました。

地域の皆様の御協力のお陰でたくさんの貴重な学習ができました。心より感謝申し上げます。生徒たちにとっての「働くとは」を見付けられることを期待しています。



第3学年

9月5日(木)～7日(土)の2泊3日で、奈良・京都へ修学旅行に行ってきました。

1日目は新大阪駅からバスで奈良に入り、法隆寺と東大寺・奈良公園を見学しました。

2日目は市バスや地下鉄などを利用しての班別行動で、シルバーガイドさんと京都市内を巡りました。夜には宿舎で清水焼の絵付け体験を行いました。3日目は観光タクシーを利用した班行動で、タクシー運転手さんからたくさんのことを学びました。

一人一人が担当した係の仕事に責任をもって行動したことで、思い出に残る修学旅行を創り上げることができました。



二中人権の日

9月25日(水)に二中人権の日として、「外国人と人権～違いを認め、共に生きる～」をテーマに、人権擁護委員会の島田しのぶ先生を講師としてお迎えし、人権講演会を開催いたしました。生徒たちは、「外国人への偏見や差別をなくし、多文化共生社会を築くためには、どのようにすれば良いと思うか」について話し合い、発表活動を行いました。生徒からは、「一人一人が互いのことを理解して、思いやりをもって歩み寄ることが大切だと思う」などのすばらしい感想を聞くことができました。



10月の主な予定

4日(金) 第2回実用英語技能検定(英検) 23日(水) 合唱コンクール

15日(火) 進路説明会(3年) ※ 詳細は、配布済みの月行事予定表を御参照ください。

【teturuによる朝の欠席連絡等への御協力をお願いいたします。】

保護者の皆様におかれましては、朝のお忙しい時間での欠席連絡等が負担であることは、重々承知しておりますが、ぜひ、teturuによる朝の欠席連絡等に御協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。